

微生物の適応・進化機構の解析とその利用

[キーワード: 適応、進化、耐性、毒素]

准教授 間世田 英明



Fig. 1 抗生物質耐性機構の概略図



Fig. 2 アオコの発生と藍藻毒

内容:

地球上に生命が誕生して以来、生き物は様々な環境に適応して進化してきました。現在、細菌のように小さい生き物まで含め地球には3,000万種もの生き物があります。そして、それらの生き物はお互いに相互作用し、あるときは支え合って、またあるときは攻撃しあって、生きてきました。このような、セイタイ(生体・生態)での多様な生き物の関わり合いの結果起きる生物の適応と進化のその機構を遺伝子レベルで詳細に解析し、生物の多様性の機構の一端を明らかにし、最終的にその知見を微生物の人為的な制御に役立てることを目指している。

その研究材料として、① 細菌の抗生物質への適応と進化の機構の解析(Fig. 1)と、② 藍藻毒の産生遺伝子と細菌によるその分解遺伝子の共進化 (Fig. 2)について特に研究を進めている。

分野: 基礎医学

専門: 細菌学

E-mail: maseda@bio.tokushima-u.ac.jp

Tel. 088-656-7524

Fax: 088-656-7524

HP : <http://researchmap.jp/beaver/>

